

令和2年度

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人ほほえみ	代表者	上野利恵子
事業所名	小規模多機能ホームなごみ	管理者	近藤信輔

法人・事業所の特徴

小規模多機能ホームなごみでは、介護が必要な状態になった時でも住み慣れた地域での生活を維持していけるよう、「通い」「訪問」「宿泊」を柔軟に組み合わせてサービスを提供します。また、サービス付き高齢者向け住宅を併設し、小規模多機能のサービスと組み合わせて24時間安心した生活を提供しています。

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・新入職者に対しての外部評価の講習を継続して行い、理解力を高めていきます。	・新入職者に対して外部評価に関する講習を行いました。		・新入職者を含む全ての職員に外部評価に関する講習を行い内容の充実と精度の向上に努めます。
B. 事業所のしつらえ・環境	・事業所へ地域の方々がいつ訪れても心地良い環境の維持に努めます。	・事業所へ地域の方々がいつ訪れても心地良いと思って頂ける様に整理整頓と環境整備、清掃活動を継続して実施しました。		・事業所へ地域の方々がいつ訪れても心地良いと思って頂ける環境の維持に努めます。
C. 事業所と地域のかかわり	・事業所は、法人内の相談窓口の一つとして、地域からの相談への対応をします。	・地域からの事業所への相談があった際には、必要に応じて法人内の別の事業所と連携して対応しました。		・事業所は法人内の相談窓口の一つとして、地域からの相談への対応を行っていきます。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・利用者の希望や意向に沿って、地域行事への参加と地域の社会資源活用の為の連絡調整や付き添い等、必要な支援を継続していきます。	・コロナ禍で地域に出向いての行事参加等が出来ませんでした。地域の社会資源活用の為の連絡調整は継続しておりますが、付き添い等の支援は緊急事態宣言等によりあまり出来ませんでした。		・新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、可能になれば地域行事への参加や地域の社会資源活用の為の連絡調整や付き添い等必要な支援を行います。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・運営推進会議の中で地域の方々の困りごとや相談等意見を可能な限り収集し、解決に向けた取組みを継続していきます。	・コロナ禍で運営推進会議がほとんど開催できませんでしたが、文書等により意見等を頂いた際にはその都度解決に向けた取組みを行いました。		・運営推進会議の中で地域の方々の困りごとや相談等、意見を可能な限り収集し、解決に向けた取組みを継続していきます。
F. 事業所の防災・災害対策	・運営推進会議の中で防災計画の内容や防災訓練についての情報を地域の方々に向けて発信していきます。	防災計画の内容や防災訓練の状況は運営推進会議が文書開催であった為、郵送にて説明を行いました。		・運営推進会議の中で防災計画の内容や防災訓練についての情報を地域の方々に向けて発信していきます。

